

FAQ PL007: サーバ設定ファイルの配置場所を変更する

FieldView Parallel をはじめとした、遠隔マシン利用を行う分散処理において FieldView ではサーバ設定ファイルを用意する必要があります。

サーバ設定ファイルは通常、FieldView のインストールディレクトリ以下のsconfigというディレクトリに格納されています。この資料では、この格納ディレクトリの変更方法をご紹介します。

sconfigフォルダは、デフォルトでは以下の場所に配置されています。

■ Windowsの場合

```
c:\program files\fieldview\cf\fvwinxx(xx:バージョン番号)\sconfig
```

■ Linuxの場合

```
<FieldViewインストールディレクトリ>/fv/sconfig
```

こちらのディレクトリは OS の設定次第では、書き込み権限が許されていない場合があり、一般ユーザ権限では *.srv ファイルを配置できない場合があります。

このような場合、FieldView には “FV_SERVER_CONFIG_DIR” という環境変数が用意されています。

FAQ PL007: サーバ設定ファイルの配置場所を変更する

■ 《 Windows10の場合》 サーバ設定ファイルをc:¥tempに配置する場合の例

- 1) Windows10のタスクバーの検索文字入力欄（別名：コルタナ）に「cont」と入力してEnter
- 2) 検索結果に「コントロールパネル」が表示されるのでそれを開きます。
- 3) 「システムとセキュリティ」 - 「システム」を開きます。
- 4) 「システムの詳細設定」をクリック
- 5) 「環境変数」をクリック
- 6) 「ユーザー環境変数」の「新規」をクリック
- 7) 「変数名」に「FV_SERVER_CONFIG_DIR」を記入し「値」欄に「c:¥tmp」を記入
- 8) 「OK」をクリック

■ 《 Linux/Unix 環境 の場合 》 サーバ設定ファイルを/home/vinas/tmpに配置する場合の例

- csh 環境であれば .cshrc ファイル内に以下の記述挿入

```
setenv FV_SERVER_CONFIG_DIR /home/vinas/tmp
```

- bash, ksh 環境であれば .bashrc ファイル内に以下の記述挿入

```
export FV_SERVER_CONFIG_DIR=/home/vinas/tmp
```